



## 2024年10月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2024年3月13日

上場会社名 株式会社ナレルグループ 上場取引所 東  
コード番号 9163 URL <https://nareru-group.co.jp>  
代表者（役職名） 代表取締役（氏名） 小林 良  
問合せ先責任者（役職名） 執行役員（氏名） 野尻 悠太（TEL）03-6208-9036  
四半期報告書提出予定日 2024年3月13日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2024年10月期第1四半期の連結業績（2023年11月1日～2024年1月31日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年10月期第1四半期	4,987	24.5	744	31.2	732	32.2	516	33.2	516	33.2	516	33.2
2023年10月期第1四半期	4,005	-	567	-	554	-	387	-	387	-	387	-

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
2024年10月期第1四半期	円 銭 61.14	円 銭 59.47
2023年10月期第1四半期	46.96	-

（注）2023年10月期第1四半期の希薄化後1株当たり四半期利益については、当社株式は非上場であり、ストック・オプションは存在するものの、権利確定条件に上場条件が含まれているため、記載しておりません。

#### （2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
2024年10月期第1四半期	百万円 21,306	百万円 12,004	百万円 12,004	% 56.3
2023年10月期	22,505	12,177	12,177	54.1

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年10月期	円 銭 -	円 銭 -	円 銭 -	円 銭 95.00	円 銭 95.00
2024年10月期	-	-	-	-	-
2024年10月期（予想）	-	50.00	-	60.00	110.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年10月期の連結業績予想（2023年11月1日～2024年10月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上収益		売上総利益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	10,160	22.4	2,570	13.0	1,010	△3.9	980	△4.4	690	△4.5	81.89
通期	21,830	21.3	5,920	14.5	2,770	12.2	2,730	10.3	1,920	10.3	227.86

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 -社(社名) - 、除外 -社(社名) -

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(注) 詳細は、添付資料11ページ「2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご参照下さい。

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年10月期1Q	8,523,279株	2023年10月期	8,426,130株
2024年10月期1Q	-株	2023年10月期	-株
2024年10月期1Q	8,446,402株	2023年10月期1Q	8,252,630株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
要約四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
要約四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(会計方針の変更)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり利益)	13
(重要な後発事象)	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の5類への移行に伴って経済活動の正常化が一段と進みました。また、賃上げの動きも見られるなど、国内景気は徐々に回復しております。一方、原料やエネルギー価格の世界的な高騰をはじめとしたインフレリスクの影響など、先行きの不透明な状況は継続しております。

当社グループの主要な取引先である建設業界においても建築資材の急騰などの懸念はあるものの、公共投資が底堅く推移する中、民間建設投資の持ち直しが続いており、国内建設需要は堅調に推移しております。

このような環境の中、当社グループは事業成長のための人材採用強化を推進し、在籍人数が増加しました。また、顧客からのニーズに応じて人材を送り出した結果、稼働人数も増加しました。以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上収益は4,987,070千円（前第1四半期連結累計期間比24.5%増）となりました。また、営業利益は744,468千円（同31.2%増）、税引前四半期利益は732,601千円（同32.2%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は516,378千円（同33.2%増）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

#### （建設ソリューション事業）

建設業界は慢性的な人手不足が続いており、技術者人材を派遣する当社の役割は大きく、人材不足解消に貢献することを求められています。その期待に応えるべく、技術者人材の採用・教育の強化に取り組んだことにより、技術者の在籍人数・稼働人数が増加しました。また、2024年4月から建設業でも規制を受ける改正労働基準法による時間外労働の上限規制に、先んじて取組んでおり残業時間は減少傾向にありますが、単価交渉を含めた積極的な営業活動が奏功し、派遣単価が向上し業績に寄与しております。

以上の結果、同事業の売上収益は4,439,126千円（前第1四半期連結累計期間比23.9%増）、セグメント利益は617,818千円（同20.3%増）となりました。

#### （ITソリューション事業）

IT業界においても、建設業界と同様に人手不足が続いており、将来において成長発展が期待される分野であります。この状況において、IT人材の育成は日本にとって大きな課題であると認識し、未経験者の採用・育成に注力しており、顧客の要員ニーズに応じてエンジニアの在籍人数・稼働人数は増加しました。

以上の結果、同事業の売上収益は547,594千円（前第1四半期連結累計期間比29.4%増）、セグメント利益は37,811千円（同95.3%増）となりました。

### （2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における財政状態の状況は以下のとおりであります。

#### （資産）

当第1四半期連結会計期間末の流動資産合計は、6,062,729千円（前連結会計年度末比997,960千円減少）であります。これは主に、現金及び現金同等物が982,593千円減少したことによるものであります。非流動資産合計は、15,243,603千円（同200,773千円減少）であります。これは主に、繰延税金資産が134,560千円減少したことによるものであります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、21,306,333千円（同1,198,734千円減少）となりました。

#### （負債）

当第1四半期連結会計期間末の流動負債合計は、5,464,683千円（前連結会計年度末比822,760千円減少）であります。これは主に、未払法人所得税が410,597千円減少したことによるものであります。非流動負債合計は、3,837,085千円（同203,322千円減少）であります。これは主に、借入金178,571千円減少したことによるものであります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、9,301,768千円（同1,026,083千円減少）となりました。

(資本)

当第1四半期連結会計期間末の資本合計は、12,004,564千円（前連結会計年度末比172,650千円減少）であります。その主な内訳は、親会社の所有者に帰属する四半期純利益の計上があった一方で剰余金の配当により、利益剰余金が223,485千円減少したことによるものです。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）につきましては、3,100,629千円（前連結会計年度末比982,593千円減少）となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、使用した資金は、70,056千円（前第1四半期連結累計期間は35,800千円の収入）となりました。これは主に、税引前四半期利益732,601千円を計上した一方で、法人所得税の支払額492,259千円や未払賞与の減少額295,602千円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は、9,535千円（前第1四半期連結累計期間は106,488千円の収入）となりました。これは主に、貸付による支出5,094千円や有形固定資産の取得による支出3,606千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は、903,000千円（前第1四半期連結累計期間は226,343千円の支出）となりました。これは主に、配当金の支払額767,958千円によるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年10月期の連結業績予想につきましては、2023年12月13日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。なお、当該業績予想数値は、本日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。今後修正の必要性が生じた場合は、適時かつ適切に開示してまいります。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年1月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	4,083,222	3,100,629
営業債権	2,766,608	2,705,595
その他の金融資産	10,029	19,063
その他の流動資産	200,829	237,441
流動資産合計	7,060,690	6,062,729
非流動資産		
有形固定資産	170,795	166,212
使用権資産	357,446	299,373
のれん	14,074,688	14,074,688
無形資産	27,923	25,261
その他の金融資産	319,788	319,043
繰延税金資産	492,491	357,931
その他の非流動資産	1,241	1,092
非流動資産合計	15,444,376	15,243,603
資産合計	22,505,067	21,306,333

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年1月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務	29,759	25,315
借入金	2,714,284	2,714,284
リース負債	201,788	190,285
未払法人所得税	492,821	82,224
その他の金融負債	112,671	183,162
その他の流動負債	2,736,118	2,269,411
流動負債合計	6,287,444	5,464,683
非流動負債		
借入金	3,571,432	3,392,861
リース負債	125,343	81,503
退職給付に係る負債	230,796	249,743
引当金	112,835	112,977
非流動負債合計	4,040,407	3,837,085
負債合計	10,327,852	9,301,768
資本		
資本金	248,368	299,177
資本剰余金	8,397,663	8,449,971
利益剰余金	3,319,560	3,096,074
その他の資本の構成要素	211,622	159,341
親会社の所有者に帰属する 持分合計	12,177,215	12,004,564
資本合計	12,177,215	12,004,564
負債及び資本合計	22,505,067	21,306,333

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年1月31日)
売上収益	4,005,735	4,987,070
売上原価	△2,869,212	△3,576,989
売上総利益	1,136,523	1,410,080
販売費及び一般管理費	△628,105	△666,575
その他の収益	61,081	1,000
その他の費用	△2,061	△37
営業利益	567,438	744,468
金融収益	10	8
金融費用	△13,085	△11,875
税引前四半期利益	554,363	732,601
法人所得税費用	△166,789	△216,223
四半期利益	387,574	516,378
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	387,574	516,378
四半期利益	387,574	516,378
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	46.96	61.14
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	-	59.47

要約四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年1月31日)
四半期利益	387,574	516,378
四半期包括利益	387,574	516,378
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	387,574	516,378
四半期包括利益	387,574	516,378

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2022年11月1日 至 2023年1月31日)

(単位：千円)

	親会社の所有者に帰属する持分							
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	新株予約権	その他の資本の構成要素		合計	資本合計
					確定 給付 制度の 再測定	合計		
2022年11月1日 残高	50,000	8,202,630	1,556,950	123,670	-	123,670	9,933,252	9,933,252
四半期利益	-	-	387,574	-	-	-	387,574	387,574
その他の 包括利益	-	-	-	-	-	-	-	-
四半期包括利益	-	-	387,574	-	-	-	387,574	387,574
新株の発行(新 株予約権の行 使)	-	-	-	-	-	-	-	-
剰余金の配当	-	-	-	-	-	-	-	-
株式報酬	-	-	-	24,939	-	24,939	24,939	24,939
その他の資本の 構成要素から利 益剰余金への振 替	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の増減	-	-	-	-	-	-	-	-
所有者との 取引額等合計	-	-	-	24,939	-	24,939	24,939	24,939
2023年1月31日 残高	50,000	8,202,630	1,944,524	148,609	-	148,609	10,345,765	10,345,765

当第1四半期連結累計期間(自 2023年11月1日 至 2024年1月31日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分							
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	新株予約権	確定 給付 制度の 再測定	合計	合計	資本合計
2023年11月1日 残高	248,368	8,397,663	3,319,560	211,622	-	211,622	12,177,215	12,177,215
四半期利益	-	-	516,378	-	-	-	516,378	516,378
その他の 包括利益	-	-	-	-	-	-	-	-
四半期包括利益	-	-	516,378	-	-	-	516,378	516,378
新株の発行(新 株予約権の行 使)	50,808	50,808	-	△4,467	-	△4,467	97,149	97,149
剰余金の配当	-	-	△800,482	-	-	-	△800,482	△800,482
株式報酬	-	-	-	12,804	-	12,804	12,804	12,804
その他の資本の 構成要素から利 益剰余金への振 替	-	-	60,617	△60,617	-	△60,617	-	-
その他の増減	-	1,500	-	-	-	-	1,500	1,500
所有者との 取引額等合計	50,808	52,308	△739,864	△52,281	-	△52,281	△689,029	△689,029
2024年1月31日 残高	299,177	8,449,971	3,096,074	159,341	-	159,341	12,004,564	12,004,564

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	554,363	732,601
減価償却費及び償却費	64,014	65,319
株式報酬費用	24,939	12,804
金融収益及び金融費用	13,074	11,866
有形固定資産売却益	△181	-
有形固定資産除却損	2,012	-
営業債権の増減額(△は増加)	78,622	61,012
営業債務の増減額(△は減少)	△7,066	△4,444
未払費用の増減額(△は減少)	△45,157	△78,657
未払賞与の増減額(△は減少)	△156,347	△295,602
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	21,480	18,946
その他	△83,145	△90,168
小計	466,609	433,679
利息及び配当金の受取額	10	8
利息の支払額	△12,546	△11,485
法人所得税の支払額	△418,273	△492,259
営業活動によるキャッシュ・フロー	35,800	△70,056
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△17,198	△3,606
有形固定資産の売却による収入	90	-
無形資産の取得による支出	△930	△839
貸付による支出	△860	△5,094
貸付金の回収による収入	1,124	446
その他の金融資産の取得による支出	△11,452	△1,098
その他の金融資産の回収による収入	137,015	656
その他	△1,300	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	106,488	△9,535
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△178,571	△178,571
リース負債の返済による支出	△45,252	△55,120
株式の発行による収入	-	97,149
配当金の支払額	-	△767,958
金融手数料の支払による支出	△2,520	-
その他	-	1,500
財務活動によるキャッシュ・フロー	△226,343	△903,000
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△84,053	△982,593
現金及び現金同等物の期首残高	2,283,790	4,083,222
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,199,736	3,100,629

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社グループが本要約四半期連結財務諸表において適用する会計方針は、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同様です。なお、要約四半期連結財務諸表における法人所得税費用は、見積平均年次実効税率を基に算定しております。当社グループは、第1四半期連結累計期間より、以下の基準書を適用しています。当該基準書の適用が要約四半期連結財務諸表に与える重要な影響はありません。

基準書	基準名	新設・改訂の概要
IAS第1号	財務諸表の表示	重要な (significant) 会計方針ではなく、重要性がある (material) 会計方針の開示を要求する改訂
IAS第8号	会計方針、会計の見積りの変更及び誤謬	会計方針と会計上の見積りとの区別を明確化
IAS第12号	法人所得税	リース及び廃棄義務に係る繰延税金の会計処理を明確化

(セグメント情報等)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社の取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっております。

当社グループは、サービス別の事業会社が、取扱うサービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは、上記を基礎としたサービス別セグメントから構成しており、サービスの特性及び販売市場の類似性に基づき、「建設ソリューション」及び「ITソリューション」の2つを報告セグメントとしております。

各報告セグメント区分の主なサービス又は事業内容は、以下のとおりです。

報告セグメント	主なサービス又は事業内容
建設ソリューション	ゼネコン等の建設会社に施工管理技術者、CAD技術者等の人材派遣
ITソリューション	S I e r等の開発案件・インフラ管理業務に対して、人材派遣やSES (システムエンジニアリングサービス) 契約によるサービス提供

(2) 報告セグメントの情報

報告されている事業セグメントの会計方針は、要約四半期連結財務諸表作成の会計方針と概ね同一です。

当社グループの報告セグメントごとの情報は次のとおりです。なお、報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値です。セグメント間の取引は市場実勢価格に基づいております。

前第1四半期連結累計期間(自 2022年11月1日 至 2023年1月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	要約四半期連 結財務諸表
	建設ソリュー ション	I Tソリュー ション	合計		
売上収益					
外部顧客からの売上収益	3,582,491	423,243	4,005,735	-	4,005,735
セグメント間の売上収益	-	-	-	-	-
合計	3,582,491	423,243	4,005,735	-	4,005,735
セグメント利益	513,456	19,361	532,818	34,619	567,438
金融収益					10
金融費用					△13,085
税引前四半期利益					554,363

(注) セグメント間の売上収益及びセグメント損益の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年11月1日 至 2024年1月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	要約四半期連 結財務諸表
	建設ソリュー ション	I Tソリュー ション	合計		
売上収益					
外部顧客からの売上収益	4,439,126	547,944	4,987,070	-	4,987,070
セグメント間の売上収益	-	-	-	-	-
合計	4,439,126	547,944	4,987,070	-	4,987,070
セグメント利益	617,818	37,811	655,630	88,838	744,468
金融収益					8
金融費用					△11,875
税引前四半期利益					732,601

(注) セグメント間の売上収益及びセグメント損益の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

## (1株当たり利益)

## (1) 基本的1株当たり四半期利益

基本的1株当たり四半期利益及びその算定上の基礎は以下のとおりであります。

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年1月31日)
親会社の普通株主に帰属する四半期利益		
親会社の所有者に帰属する四半期利益	387,574	516,378
親会社の普通株主に帰属しない四半期利益	-	-
基本的1株当たり四半期利益の計算に使用する四半期利益	387,574	516,378
発行済普通株式の期中平均株式数	8,252,630株	8,446,402株
基本的1株当たり四半期利益	46.96円	61.14円

## (2) 希薄化後1株当たり四半期利益

希薄化後1株当たり四半期利益及びその算定上の基礎は以下のとおりであります。

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年1月31日)
希薄化後の普通株主に帰属する四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益の計算に使用する四半期利益	387,574	516,378
四半期利益調整額	-	-
希薄化後1株当たり四半期利益の計算に使用する四半期利益	387,574	516,378
発行済普通株式の期中平均株式数	8,252,630株	8,446,402株
希薄化性潜在的普通株式の影響：ストック・オプション	-	236,272株
希薄化効果の調整後	-	8,682,674株
希薄化後1株当たり四半期利益	-	59.47円

(注) 当社の株式は、前第1四半期連結累計期間においては非上場であり、ストックオプションは存在するものの、権利確定条件に上場条件が含まれているため、前第1四半期連結累計期間の希薄化後1株当たり四半期利益については記載しておりません。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。